# ◆ 緯度と経度

## 1 緯度・経度とは

緯度 ( $\ell$ ) と経度 (L) は、地球上の位置を表すためのものである。緯度は、赤道を $0^\circ$  として、真子午線に沿って<u>北</u>又は<u>南</u>に $90^\circ$  まで測って表す。経度は、本初子午線(又は グリニッチ子午線)を $0^\circ$  として、赤道に沿って東又は西に $180^\circ$  まで測って表す。

## 2 変緯と変経の計算

イ 変緯: 変緯 (D. 0.) とは、出発緯度 (01) と到着緯度 (02) の差をいう。 変緯の符 <u>号</u>は、到着緯度が出発緯度の北側にあるとき N 符を付け、南側にあるとき S 符を付ける。なお、地球表面における変緯 1'の真子午線の長さは1海里 (1,852メートル) である。

(公式) D. Q. = Q<sub>1</sub> ± Q<sub>2</sub> ( $\ell_1$  と  $\ell_2$  の符号が同名で差( $\sim$ )、異名で和(+) となる。)

**変経**: 変経 (D. L.) とは、出発経度 ( $L_1$ ) と到着経度 ( $L_2$ ) の差をいう。 変経の符 号は、到着経度が出発経度の東側にあるとき E 符を付け、西側にあるとき W 符を付け る。なお、地球表面における変経 1' の赤道の長さは、1 海里 (1, 8 5 2 メートル) である。

(公式) D.L.=  $L_1 \pm L_2$  ( $L_1$  と  $L_2$  の符号が同名で差( $\sim$ )、異名で和(+) となる。 ただし、変経が $180^\circ$  を超えるときは、 $360^\circ$  から差をとって、変経の符号を反転する。)

## [記号の読み方]

 $\ell$ : ラット L: ロング D.  $\ell$ .: ディーラット  $\ell_1$ : ラットワン  $\ell_2$ : ラットツー D. L.: ディーロング  $\ell_1$ : ロングワン  $\ell_2$ : ロングツー  $\ell_2$ : ロングツー  $\ell_3$ : マイナス(大から小を引く)

**例題1** A 丸は、2°-22′N,160°-26′E の地点から 5°-15′N,158°-4 3′E の地点まで航走した。次の(1)と(2)を求めよ。

5 N

(解)

(1) 
$$\ell_1$$
 2° -22.0′ N (2)  $L_1$  160° -26.0′ E  
 $\ell_2$  5 -15.0 N ( $\sim$   $L_2$  158 -43.0 E ( $\sim$  D.  $\ell$ . 2° -53.0′ N  $\leftarrow$  答 Or 103.0′ W  $\leftarrow$  答

**例題2** B丸は、5°-15′N,90°-30′Wの地点から 3°-12′S,93°-48′ Wの地点まで航走した。次の(1)と(2)を求めよ。

5 N

(解)

(1) 
$$\ell_1$$
 $5^{\circ}$  - 1 5. 0′ N
 (2)  $L_1$ 
 $9 \ 0^{\circ}$  - 3 0. 0′ W

  $\ell_2$ 
 $3 \ -1 \ 2. \ 0 \ S$  (+
  $L_2$ 
 $9 \ 3 \ -4 \ 8. \ 0 \ W$  (~

 D.  $\ell$ .
  $8^{\circ}$  - 2 7. 0′ S
 D. L.
  $3^{\circ}$  - 1 8. 0′ W

 0r
  $5 \ 0 \ 7. \ 0'$  S
  $\leftarrow$ 
 $\leftarrow$ 

**例題3** 20°-18′N,178°-39′Eの地点から 変緯162′S、変経206′E となる地点の緯度、経度を求めよ。 5N

(解)

$$\ell_1$$
 $20^{\circ}$  -  $18.0'$  N
  $L_1$ 
 $178^{\circ}$  -  $39.0'$  E

 D.  $\ell$ .
  $2$  -  $42.0$  S ( $\sim$ 
 D. L.
  $3$  -  $26.0$  E (+

  $\ell_2$ 
 $17^{\circ}$  -  $36.0'$  N  $\checkmark$ 
 $4$  E
  $4$  E

  $\ell$ 
 $\ell$ 

**例題4** 13°-37′S, 178°-51′W の地点から変緯205′N、変経214′W となる地点の緯度、経度を求めよ。 5N

(解)

**例題5** 速力14/ットの船が、 $4^{\circ}$  -12  $^{\prime}$  Nの地から真針路 $180^{\circ}$  で航走すると、何時間で赤道へ到達することができるか。

(解)

D. 
$$\ell$$
.  $4^{\circ} - 12'$  S or  $252'$  S 航走時間 =  $252 \div 14 = 18$  時間  $\longleftarrow$  答

**例題6** 速力 15 ノットの船が、0°-15′S の地から真針路000°で航走すると、何時間で緯度2°-45′Nの地へ到達できるか。 5N

(解)

$$\ell_1$$
 0° -15′ S  
 $\ell_2$  2 -45 N (+  
D.  $\ell$ . 3° -00′ N  
Or 180′ N

航走時間=180÷15=12時間 ← 答

**例題7** 速力 15 ノットの船が、178°-30′E の赤道上の地点から真針路090°で 35時間航走した。到着地の経度を求めよ。 5N

(解)

D. L. = 
$$1.5 \times 3.5 = 5.2.5'$$
 E or  $8^{\circ} - 4.5'$  E

L<sub>1</sub>  $1.7.8^{\circ} - 3.0.0'$  E

D. L.  $8.-4.5.0$  E (+

L<sub>2</sub>  $1.8.7^{\circ} - 1.5.0'$  E

 $3.6.0^{\circ}$  (~

L<sub>2</sub>  $1.7.2^{\circ} - 4.5.0'$  W  $\leftarrow$  答

**例題8** 速力18ノットの船が、170° Wの赤道上の地点から真針路270°で40時間 航走した。到着地の経度を求めよ。 5 N

(解)

D. L. = 
$$1.8 \times 4.0 = 7.2.0'$$
 W or  $1.2^{\circ}$  W L<sub>1</sub>  $1.7.0^{\circ}$  W W D. L.  $1.2$  W (+ L<sub>2</sub>  $1.8.2^{\circ}$  W 360° (~ L<sub>2</sub>  $1.7.8^{\circ}$  E  $\leftarrow$  答

**例題9** 速力15ノットの船が、155°-00′Eの赤道上の地点を発し、真針路270°で15時間航走して、それから真針路000°で10時間航走した。到着地の緯度、経度を求めよ。

(解)

D. L. = 1 5 × 1 5 = 2 2 5' W or 3° -4 5' W
D. 
$$\ell$$
. = 1 5 × 1 0 = 1 5 0' N or 2° -3 0' N
$$\ell_1 \qquad 0^{\circ} -0 \ 0. \ 0' \qquad \qquad L_1 \qquad 1 \ 5 \ 5^{\circ} -0 \ 0. \ 0' \ E$$

$$\underline{D. \ell.} \qquad 2 \quad -3 \ 0. \ 0 \quad N \ (\sim \\ \ell_2 \qquad 2^{\circ} -3 \ 0. \ 0' \ N \ \checkmark$$

$$\underline{E} \qquad D. L. \qquad 3 \quad -4 \ 5. \ 0 \quad W \ (-) \qquad (\sim \\ \underline{L}_2 \qquad 1 \ 5 \ 1^{\circ} \quad -1 \ 5. \ 0' \ E \ \checkmark \qquad$$
答

#### [練習問題]

**1** 速力16ノットの船が、緯度7°-28′Nの地から真針路180°で航走すると、何時間で赤道に到達することが出来るか。 5N

答 28時間

**2** 40°-15′N,176°-35′Eの地点から変緯185′S、変経250′Eとなる地点の緯度、経度を求めよ。 5N

**3** 甲丸は、3°-55′N,174°-50′Eの地点から6°-10′S,176°-15′W の地点まで航走した。次の(1)及び(2)を求めよ。

5 N

答(1)605'S (2)535'E

4速力15ノットの船が、経度171°-20′Wの赤道上の地点から真針路270°で50時間航走した。到着地の経度を求めよ。5N

答 176°-10′E